

生協の仕組みとコープこうべの原点

生活協同組合について

生活協同組合（生協）は株式会社と異なり、一人ひとりがお金を出し合い、みんなで商品やサービスを利用し、活動や事業の運営に参加する組合員が主役の組織です。一人ではできないことも、みんなで助け合って夢や希望を形にし、より良く暮らしをめざしています。

組合員が
主役の組織
なんだね



出資

組合員、一人ひとりが
出資金を持ち寄り、
商品づくりや宅配・店舗の
運営など、あらゆる活動や
事業の大切な資金です。

利用

宅配や店舗での買い物、
さまざまなサービスを
みんなで利用することで
生協を大きく育て、
協同の輪を広げます。

運営

みんなの声を寄せ合って
商品の開発・改善、活動や
事業を行い、安心して暮らせる
豊かな地域づくりに
つなげます。

コープこうべについて

第一次世界大戦後の深刻な状況で、人々は苦しい生活を強いられていました。その中で「確かな品質の商品を適正な価格で手に入れたい」という消費者の切実な願いを実現するため、1921年に2つの生協が誕生しました。これがコープこうべの前身である「神戸購買組合」と「灘購買組合」です。

神戸購買組合



灘購買組合



コープこうべは1921年の創立以来、不安を安心に、そして困難を希望に変えるため、組合員と役員・職員が心と力を寄せ合い、「協同の力」でくらしの安心をつむいできました。私たちは創立の指導者である賀川豊彦の「愛と協同」の精神をいつの時代も揺らぐことなく受け継いでいます。



賀川豊彦